



添えて口を開けると関節の動きが指に伝わりません。顎の動きは単純に回転運動では

なく、多少前に出ながら開くのですが、口を開くとき、関節が後ろにあるので、前歯の開いた距離よりも奥歯の開いた距離のほうが短くなります。例えば、大きく口を開けて上下の前歯が5センチ開いたとしても奥歯同士の間隔は3センチほどしか開きません。

口を開けるときには筋肉と顎の関節の柔軟性もあるのですが、骨の大きさ（長さ）が関与します。特に横から見た時の顎の関節から下方への長さ、関節から前方への長さ。わかりやすく言えば、顎の小さい人は、大きい

人より口が開きません。と言っても日常生活に困ることがなければ問題ありません。問題は…奥歯の歯科治療が難しくなるといことです。若い方は顔が小さく、本当にスタイルのいい方が増えましたが、「奥歯の治療が難しいぞだなあ」と思うのは職業病ですね。

東京オリンピック

いよいよですね。東京でオリンピックをやるぞ！と立候補して落選。もう一回「コンパクトオリンピック」を合言葉に挑戦して「オモテナシ」で勝利。決定してしまえばコンパクトという言葉はどこに行ったやら。予算は4倍以上に膨れ上がったそうです。こういうところが日本のダメな

ところだなあと感じずにはいられません。

それでも、来年はオリンピックイヤー。たぶんテレビが一番いい観戦席だと思えますが、ライブ感を感じてみたいですね。今年のラグビーワールドカップ、全く興味なかったのでチケットの購入申し込みすらしませんでしたが、始めてみるともうらやましく思いました。

立派な国立競技場も完成しました。来年元旦のサッカーの天皇杯の決勝からスポーツ使用されるようです。テレビで競技場を見るのも楽しみです。いろいろあっても世界的なイベント。世界から多くの方たちが来てくれるのも単純にうれしいです。僕は違いますが、通勤に影響が出る方たちにとっては少し迷惑かもしれませんね。